

平成31年度 校内研修計画

1 昨年度の取組より

昨年度研修テーマ「**自ら学ぶ**」生徒の育成～「**つながり**」を意識した学びの場づくり～(3年次)～

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ●周陽授業モデルの実施 ●校内授業研究会の実施（ユニット型研修、授業公開） ●授業の中で、生活班による話し合い活動の実施 ●周陽自学スタンダードの実施 ●自学タイム、自学コンクールによる自学ノートの取組の向上 ●自学応援し隊による、全教職員による自学ノートのチェック 	<ul style="list-style-type: none"> ●「言語活動の充実」についての教科ごとの研修（特に説明を書くこと） ●「振り返り」「授業評価」の継続実施と効果的方法の検討 ●自学タイムや自学ノートとのリンクを意識した授業づくり ●真の学力向上につながる自学ノートの取組 ●ICT機器の活用

2 今年度の学校教育目標

<p>「心身ともにたくましく 自ら学び 共によりよく生きようとする生徒の育成」</p> <p>↓↓↓</p> <p>○自ら進んで学ぼうとする生徒</p> <p>○知識や技能を活用し、考え・判断し、表現する生徒</p> <p>○学んだことを生活に生かそうとする生徒</p>
--

3 研究主題

<p>自ら学び、心豊かに生きる生徒の育成</p> <p>～基礎的・基本的な知識の定着と表現力の向上を目指して～</p>

4 研究仮説

各教科で基礎的・基本的な知識を定着させ、授業や特別活動等の中で、生徒と生徒、教師、教材、地域などとのつながりを意識して学びの場面を仕組むことで、自分の知識や考えを深め、自ら表現し、自ら学ぶ生徒を育成することができるだろう。

5 研修内容・方法

RPDCAサイクルを意識して研修に取り組むことで、研究主題の達成に迫る		
検証改善サイクル	生徒	教師
R 課題の把握	「授業の振り返り」で学習状況の自己評価分かったこと・分からなかったことの把握	「前年度の振り返り」を分析し、現在の自分の得意と苦手を確認把握
P 計画	「自学タイム」で家庭学習の計画立案	「自己目標シート」で授業力向上のための自己目標の設定
D 実行	「自学ノート」で家庭学習の充実	「日々の授業」「授業公開」で自己目標に添った実践
C 評価	「自学ノートの振り返り」で達成状況をチェック	「生徒の振り返り」で授業の振り返り
A 改善	「翌日の授業、家庭学習」で学習の取り組み方を見直し、改善	『C評価』をもとにしながら授業改善を行い、よりよい授業実践へ

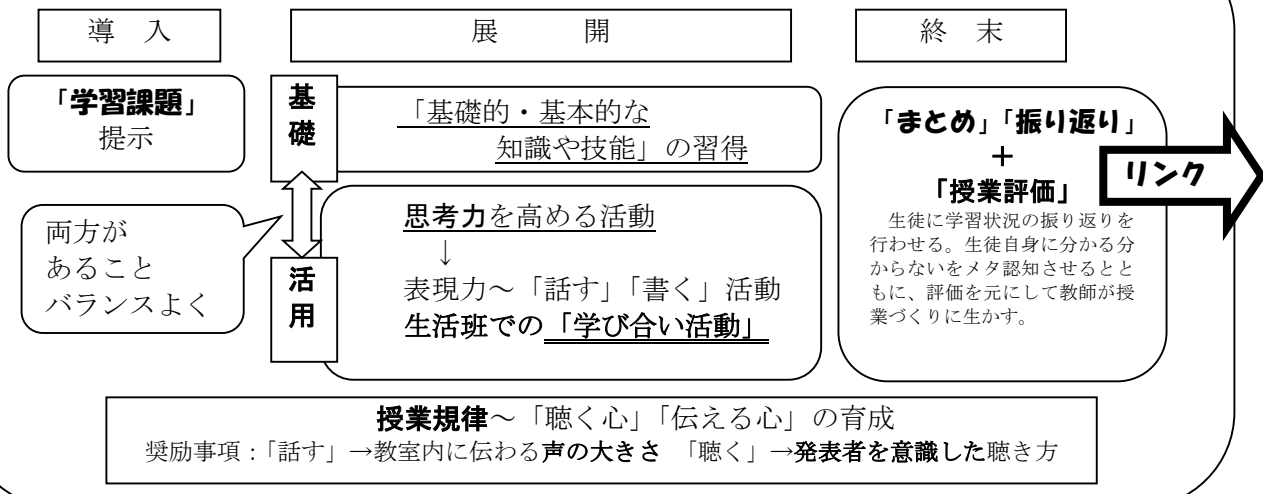
【重点取組事項1】主体的・対話的で深い学びの場づくり

① 「授業」

- ・周陽授業モデルの実践→学習課題の提示・まとめ、振り返りの充実、言語活動の充実
- ・「自学タイム」「自学ノート」へのリンクを意識した授業づくり
- ・「振り返り」（毎時間、章末など）「授業評価」（振り返りと兼用、全体として1，2学期末に実施）の完全実施

自学タイム・自学ノート

●周陽授業モデルの深化 ～子どもが集中する授業にはフォームがある～



→授業公開チームにはコミスクの視点を取り入れるために、学校運営協議委員会の方にも参加していただき、幅広い視点で学力の向上、心豊かな生徒の育成につなげていく。

授業公開・授業研究(年間3回)

授業公開の時間は5校時とし、研究協議を行う

研修の内容によってメンバー変更あり。

アドバイスリーダー	チームリーダー	研究教員・職員	学校運営協議委員
教頭先生	4～10年目の教員 1名	7～8名	2～3名
支援・指導を行う	チームの研修の中心となり企画・調整まで行う	ともに授業公開・研究協議を行う	保護者・地域の目線で意見

② 「自学タイム」

- ・周陽自学スタンダードの全校実施・徹底
- ・効果的な実施時間の検討
- ・自学タイムの充実（昨年度の取組に改善を加えながら、より充実した時間へ）
- ・学習委員会の活用

③ 「自学ノート」

- ・大学ノートの利用による家庭学習の充実（振り返りからつながる家庭学習）
- ・自学コンクール、自学応援し隊の継続
- ・学力向上につながる自学ノートのあり方について（自学1ページで家庭学習を終わらせないこと）
- ・学習委員会の活用

④ 「その他研修の充実」

- ・各教科部会で、課題に対して自分の考えを書き表し、それを周囲に伝え深める活動を実施する。
- ・「道徳」「特活」「特別支援」「部活動」「復伝」など、様々な内容を研究内容として取り上げ、幅広く研修を行い、教師力の向上を目指す
- ・やまぐち総合教育支援センターのサテライト研修や授業アドバイザーなどを活用する。

【重点取組事項2】9年間の学びの共通理解

- ① 周陽中学校区 学びのスタイル
 - ・学習委員会でその推進を毎月働きかける。
 - ・小中連携の打ち合わせで内容の検討。
- ② 周陽中学校区 学びのカルテ
 - ・全学調、県確認問題の分析と兼ねる。
 - ・小中連携の打ち合わせで、調査で明らかになった課題を共有する。

6 研究推進組織

校長	研修推進委員会	研修部会	研修職員会議
	校長・教頭・研修主任	研修主任	校内授業研究会
	学校運営協議委員 その他分掌主任など	各学年研修担当	授業公開・研究チーム

7 平成31年度校内研修計画について

月	日	企画力向上部会	学力向上部会	生活力向上部会
4	3 4 12 18	・研修計画共通理解	<ul style="list-style-type: none"> ・小中連携打ち合わせ（今年度の取組の確認） ・研修計画共通理解 ・ユニット研修、自学スタンダード、小中連携について ・教科部会（役割分担、年度初めの確認） ・生徒集会で「学びのスタイル」、自学スタンダードについて説明 ・全国学力・学習状況調査、やまぐち学習支援プログラム確認問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修計画共通理解 ・緊急時対応研修
5	20 22	・綱紀保持研修	<ul style="list-style-type: none"> ・自己目標シート作成 ・教科部会（4月全学調の「学びのカルテ」作成、結果をふまえた授業改善について） ・分掌部会 	
6	19		<ul style="list-style-type: none"> ・4月全学調の「学びのカルテ」完成 ・自学コンクール ・ユニット研修（各教科）ICTの活用について 	
7			<ul style="list-style-type: none"> ・自学応援し隊 ・授業評価アンケート ・小中連携打ち合わせ（「学びのカルテ」で昨年の確認問題からの取組の振り返りと4月全学調の結果の共有、小中合同学校運営協議会の準備） 	
8	2 9 27		<ul style="list-style-type: none"> ・小中合同学校運営協議会 ・特別支援教育研修 全国学調結果共有 	・緊急時対応研修
9	18		<ul style="list-style-type: none"> ・学習クラスマッチ ・ユニット研修（道徳）評価について 	
10	15 24		<ul style="list-style-type: none"> ・自己目標シート追記 ・人権資料検討等 ・県学力定着状況確認問題 	
11	22	・綱紀保持研修	<ul style="list-style-type: none"> ・自学コンクール ・教科部会（10月確認問題の「学びのカルテ」作成、結果をふまえた授業改善について） 	
12			<ul style="list-style-type: none"> ・10月確認問題の「学びのカルテ」完成 ・自学応援し隊 ・授業評価アンケート 	・緊急時対応研修
1	30	・綱紀保持研修	<ul style="list-style-type: none"> ・自己目標シート完成 ・小中連携打ち合わせ（「学びのカルテ」で4月全学調からの取組の振り返りと10月確認問題の結果の共有） 	
2	20		<ul style="list-style-type: none"> ・学習クラスマッチ ・ユニット研修（各教科）研修の振り返り 	
3			<ul style="list-style-type: none"> ・自学応援し隊 ・学びのカルテの引継ぎ ・年度末反省と来年度への提案 	